



ギャラクシー・エンターテインメント・グループ

2019年第1四半期監査前主要財務データを発表

第1四半期のグループの調整後 EBITDA は 40 億香港ドル

前年同期比で 8%減、前期比では 8%減、

リゾートの増強ならびにコタイ地区におけるギャラクシー・マカオの

第3および第4フェーズ開発事業を通じてマカオへのコミットメントを強化

発表済みの1株あたり 0.45 香港ドルの特別配当を実施

【2019年5月16日、東京発】 - ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（略称：GEG、香港証券取引所証券コード：27）は、本日、2019年3月31日までの3か月の監査前主要財務データを発表しました。（金額は特に明記がない限りすべて香港ドル建て）

2019年第1四半期業績のハイライト

GEG：マスゲーミングは好調もVIPセグメントは減収

- 第1四半期のグループの純売上高は130億香港ドル（前年同期比8%減、前四半期比8%減）
- 第1四半期のグループの調整後 EBITDA は40億香港ドル（前年同期比8%減、前四半期比8%減）
- プラス要因により第1四半期の調整後 EBITDA は約1億1100万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は39億香港ドル（前年同期比12%減、前四半期比9%減）
- 直近12か月の調整後 EBITDA は165億香港ドル（前年同期比8%増、前四半期比2%減）

ギャラクシー・マカオ：マージンを維持しつつマスゲーミングは堅調に推移

- 第1四半期の純売上高は93億香港ドル（前年同期比6%減、前四半期比11%減）
- 第1四半期の調整後 EBITDA は30億香港ドル（前年同期比7%減、前四半期比12%減）
- プラス要因により第1四半期の調整後 EBITDA は約3,900万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は30億香港ドル（前年同期比13%減、前四半期比8%減）
- 第1四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上100%

スターワールド・マカオ：マージンを維持しつつマスゲーミングは堅調に推移

- 第1四半期の純売上高は30億香港ドル（前年同期比7%減、前四半期比では横ばい）
- 第1四半期の調整後 EBITDA は9億4,900万香港ドル（前年同期比5%減、前四半期比6%増）
- プラス要因により第1四半期の調整後 EBITDA は約6,800万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は8億8,100万香港ドル（前年同期比5%減、前四半期比13%減）
- 第1四半期のホテルの客室稼働率は事実上100%

ブロードウェイ・マカオ：独自のファミリー向けリゾート、マカオの中小企業による強力な支援

- 第1四半期の純売上高は1億5,100万香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比5%増）
- 第1四半期の調整後 EBITDA は1,500万香港ドル（前年同期比15%増、前四半期比88%増）
- プラス要因により第1四半期の調整後 EBITDA は約400万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は1,100万香港ドル（前年同期比10%増、前四半期比57%増）
- 第1四半期のホテルの客室稼働率は95%

バランスシート：健全なバランスシート

- 現金および流動性のある投資は493億香港ドル、ネットキャッシュは2019年3月31日時点で425億香港ドル
- 2019年3月31日時点での負債は68億香港ドル（主に現在の財務収益管理戦略を反映）
- 発表済みの1株あたり0.45香港ドルの特別配当を2019年4月26日に実施

開発に関する最新情報：開発機会を引き続き探索中

- コタイ地区ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズ - ノンゲーミング事業のMICEやエンターテインメント、家族向け施設を中心に、ゲーミングも含めて開発が進行中
- 横琴島 - マカオの旗艦エンターテインメントリゾートであるギャラクシー・マカオを補完するために、ライフスタイルリゾートの計画を更新中
- 国際事業の展開 - 日本を含む海外市場で機会を引き続き探索



GEG 会長 **レイ・チェ・ウー** 博士は次のように述べています。

「市場の現況に照らせば、全体的に見てグループは十分な業績を達成しました。第 1 四半期、マカオでは市場（とりわけ VIP セグメント）に影響をおよぼす複数のできごとがありました。これらのなかには、カジノの全面的な禁煙に加え、マカオと比較してはるかに経済的に有利な地方および地域のカジノとの競争激化があります。

当社は、すでに発表済みのギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオに対する 15 億香港ドルの改修増強計画を引き続き進めていきます。市場の混乱も見受けられましたが、この増強計画により当社のリゾートはお客様にとってさらに魅力的になると信じています。この計画は 2020 年前半に完了する予定です。

2019 年の第 1 四半期、GEG の純売上高は、前年同期比 8%減、前四半期比 8%減の 130 億香港ドルでした。調整後 EBITDA は、前年同期比 8%減、前四半期比 8%減の 40 億香港ドルでした。

2019 年 4 月 26 日には、発表済みの 1 株あたり 0.45 香港ドルの特別配当を実施しました。当社のバランスシートは引き続き健全で流動性に富み、トータルキャッシュおよび流動性のある投資が 493 億香港ドル、2019 年 3 月 31 日時点でのネットキャッシュは 425 億香港ドルです。

港珠澳大橋および広深港高速鉄道の開通を受けて、マカオへの訪問者数は伸び続けています。第 1 四半期の訪問者数は、前年同期比 21%増の 1,040 万人でした。

当社は第 3、第 4 フェーズの開発事業および横琴島でのライフスタイルリゾートの計画を引き続き推進します。また候補都市および都道府県に対して RFI を提出し、日本での取り組みも継続しています。

当社は、特に中国本土からの観光、レジャーおよび旅行の需要が伸び続けていることから、マカオ全般および GEG の中長期的展望には依然として自信を持っています。また、マカオがグレーターベイエリアに組み込まれることは、マカオの発展にとってプラスになると確信しています。当社は、世界の観光やレジャーの中心地になるというマカオ政府の構想への支援に注力していく所存です。」

マカオ市場の概況

第 1 四半期、グロスゲーミングレベニューは全面禁煙の導入と地方および地域のカジノとの競争激化による影響を受けました。2019 年第 1 四半期のマカオのグロスゲーミングレベニューは、739 億香港ドル（前年同期比 0.5%減、前四半期比 3%減）でした。VIP のグロスゲーミングレベニューは、361 億香港ドル（前年同期比 13%減、前四半期比 11%減）でした。

2019 年第 1 四半期、マカオへの訪問者数は前年同期比 21%増の 1,040 万人でした。中国本土からの訪問者数は前年同期比 24%増というさらに高い増加率を記録しました。宿泊客は前年同期と比較して 9%増加し、訪問者数全体の 46%を占めています。宿泊客の平均滞在日数は 2.2 日でした。一方、グレーターベイエリア内の都市からの訪問者数は、前年同期比 17%増の 140 万人となりました。

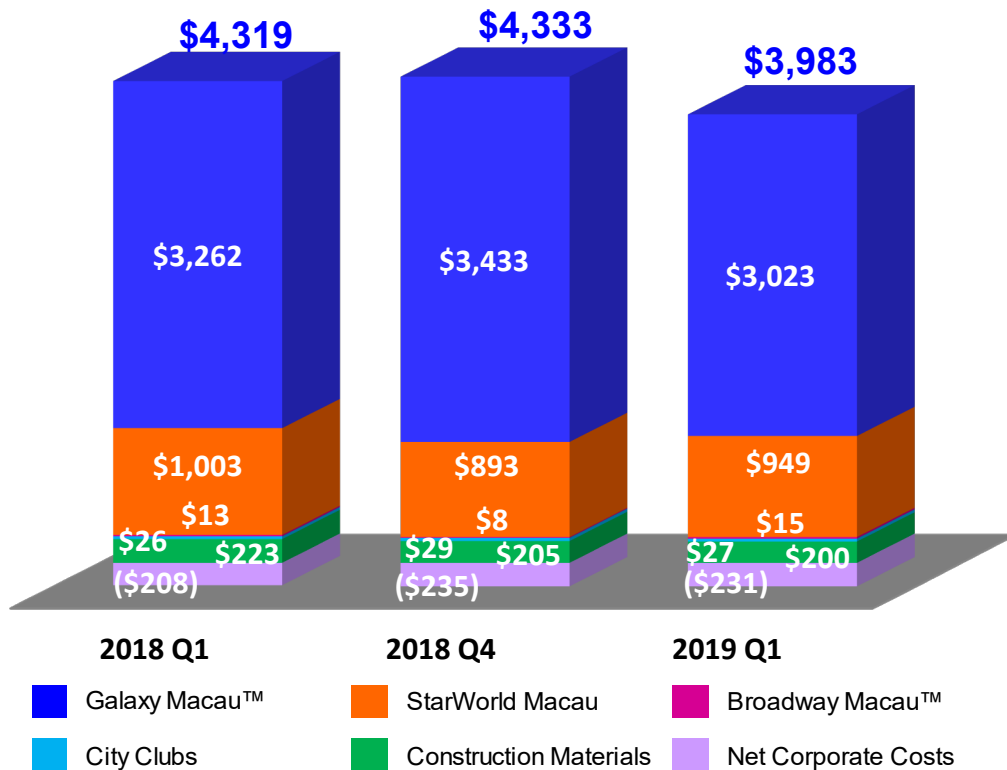
GEG 決算の状況

2019 年第 1 四半期のグループの純売上高は 130 億香港ドル（前年同期比 8%減、前四半期比 8%減）で、調整後 EBITDA は、40 億香港ドル（前年同期比 8%減、前四半期比 8%減）となりました。ギャラクシー・マカオの調整後 EBITDA は 30 億香港ドル（前年同期比 7%減、前四半期比 12%減）となりました。スターワールド・マカオの調整後 EBITDA は 9 億 4,900 万香港ドル（前年同期比 5%減、前四半期比 6%増）となりました。ブロードウェイ・マカオ™の調整後 EBITDA は 1,500 万香港ドル（前年同期比 15%増、前四半期比 88%増）でした。



2019年の第1四半期、GEGの調整後EBITDAは、プラス要因により約1億1,100万香港ドル増加しました。第1四半期の平準化調整後EBITDAは39億香港ドル（前年同期比12%減、前四半期比9%減）となりました。

GEGの調整後EBITDA（単位：100万香港ドル）



グループ全体のグロスゲーミングレベニューは、2019年第1四半期の管理会計ベース¹で、154億香港ドル（前年同期比10%減、前四半期比10%減）でした。マステーブルのグロスゲーミングレベニューは73億香港ドル（前年同期比9%増、前四半期比では横ばい）でした。VIPのグロスゲーミングレベニューは74億香港ドル（前年同期比25%減、前四半期比18%減）でした。電子ゲーミングのグロスゲーミングレベニューは6億600万香港ドル（前年同期比1%増、前四半期比11%減）でした。

¹ 法定総収益と管理ベース基本総収益の主な違いは、シティ・クラブの収益の取扱いであり、手数料収入は法定ベースで報告され、ゲームの総収益は管理ベースで報告されます。グループのレベルでは、ゲーミングの実績には、企業所有のリゾートとシティ・クラブが含まれます。



グループの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第1 四半期	2018年 第4 四半期	2019年 第1 四半期
売上高：			
ネットゲーミング	11,921	12,138	11,091
ノンゲーミング	1,301	1,369	1,338
建設資材	911	651	616
全純売上高	14,133	14,158	13,045
調整後 EBITDA	4,319	4,333	3,983

ゲーミングの実績²

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第1 四半期	2018年 第4 四半期	2019年 第1 四半期
ローリングチップ売上高 ³	288,792	260,505	203,568
ウィンレート%	3.4%	3.5%	3.6%
勝ち金	9,868	9,034	7,429
マステーブルドロップ ⁴	28,510	31,571	30,463
ウィンレート%	23.6%	23.2%	24.1%
勝ち金	6,715	7,328	7,345
電子ゲーミング売上	17,829	18,191	16,178
ウィンレート%	3.4%	3.7%	3.7%
勝ち金	601	681	606
全 GGR 勝ち金 ⁵	17,184	17,043	15,380

バランスシートと特別配当

2019年3月31日の時点で、現金および流動性のある投資が493億香港ドル、ネットキャッシュは425億香港ドルです。負債総額は68億香港ドルとなりました。これは、主に継続的な資金管理によるもので、現金資産への利息収入は借入コストを上回っています。2019年4月26日には、発表済みの1株あたり0.45香港ドルの特別配当を実施しました。バランスシートと事業運営が生み出すキャッシュフローが、特別配当による株主への還元に加えてマカオの開発パイプラインと国際的な事業展開計画への資金投入を可能にしています。

²ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

³ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁴マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

⁵シティクラブのゲーミング売上を含みます。



ギャラクシー・マカオ™

ギャラクシー・マカオ™はグループの売上高、収益面で中心的な役割を担っています。2019年第1四半期の純売上高は、93億香港ドル（前年同期比6%減、前四半期比11%減）となりました。調整後EBITDAは、30億香港ドル（前年同期比7%減、前四半期比12%減）でした。調整後EBITDAマージンは香港財務報告基準で33%（2018年第1四半期は33%）となりました。

2019年第1四半期の調整後EBITDAは、プラス要因により約3,900万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、30億香港ドル（前年同期比13%減、前四半期比8%減）となりました。

第1四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上100%でした。

ギャラクシー・マカオ™の主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
売上高：			
ネットゲーミング	8,732	9,201	8,130
ホテル/飲食/その他	819	858	829
ショッピングモール	293	302	305
全純売上高	9,844	10,361	9,264
調整後 EBITDA	3,262	3,433	3,023
調整後 EBITDA マージン	33%	33%	33%

ゲーミングの実績⁶

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
ローリングチップ売上高 ⁷	204,938	172,378	135,344
ウィンレート%	3.5%	3.8%	3.9%
勝ち金	7,153	6,612	5,253
マステーブルドロップ ⁸	16,754	18,593	17,906
ウィンレート%	27.0%	27.8%	28.3%
勝ち金	4,524	5,178	5,068
電子ゲーミング売上	13,590	12,851	11,106
ウィンレート%	3.7%	4.5%	4.5%
勝ち金	509	573	502
全 GGR 勝ち金	12,186	12,363	10,823

⁶ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

⁷ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁸ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



スターワールド・マカオ

スターワールド・マカオの2019年第1四半期の純売上高は、30億香港ドル（前年同期比7%減、前四半期比では横ばい）となりました。調整後 EBITDA は、9億4,900万香港ドル（前年同期比5%減、前四半期比6%増）でした。調整後 EBITDA マージンは、香港財務報告基準で32%（2018年第1四半期は31%）でした。

2019年第1四半期の調整後 EBITDA は、プラス要因により約6,800万香港ドル増加しました。平準化調整後 EBITDA は、8億8,100万香港ドル（前年同期比5%減、前四半期比13%減）となりました。

第1四半期のホテルの客室稼働率は事実上100%でした。

スターワールド・マカオの主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
売上高：			
ネットゲーミング	3,088	2,839	2,858
ホテル/飲食/その他	109	121	115
ショッピングモール	13	13	14
全純売上高	3,210	2,973	2,987
調整後 EBITDA	1,003	893	949
調整後 EBITDA マージン	31%	30%	32%

ゲーミングの実績⁹

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
ローリングチップ売上高 ¹⁰	82,293	87,317	67,580
ウィンレート%	3.2%	2.7%	3.2%
勝ち金	2,670	2,386	2,165
マステーブルドロップ ¹¹	8,547	9,620	9,265
ウィンレート%	20.0%	16.9%	18.9%
勝ち金	1,709	1,630	1,749
電子ゲーミング売上	1,710	2,010	2,018
ウィンレート%	2.5%	2.1%	2.3%
勝ち金	43	42	46
全 GGR 勝ち金	4,422	4,058	3,960

⁹ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁰ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹¹ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



ブロードウェイ・マカオ™

ブロードウェイ・マカオ™は、マカオの地元中小企業のサポートを受けて運営し、ストリートエンターテインメントと食事を楽しめる、他にはないユニークなファミリー向けリゾート施設であるため、VIPゲーミングは備えていません。2019年第1四半期の純売上高は、1億5,100万香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比5%増）となりました。調整後EBITDAは、1,500万香港ドル（前年同期比15%増、前四半期比88%増）でした。調整後EBITDAマージンは、香港財務報告基準で10%（2018年第1四半期は9%）となりました。

2019年第1四半期の調整後EBITDAは、プラス要因により約400万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、1,100万香港ドル（前年同期比10%増、前四半期比57%増）となりました。

第1四半期のホテルの客室稼働率は95%でした。

ブロードウェイ・マカオ™の主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
売上高：			
ネットゲーミング	75	69	76
ホテル/飲食/その他	56	63	64
ショッピングモール	11	12	11
全純売上高	142	144	151
調整後 EBITDA	13	8	15
調整後 EBITDA マージン	9%	6%	10%

ゲーミングの実績¹²

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
マステーブルドロップ ¹³	368	346	342
ウィンレート%	19.7%	18.9%	20.3%
勝ち金	73	65	70
電子ゲーミング売上	409	574	554
ウィンレート%	2.4%	2.3%	2.7%
勝ち金	10	13	15
全 GGR 勝ち金	83	78	85

¹² ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹³ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



シティ・クラブ

2019年第1四半期の調整後EBITDAは2,700万香港ドル（前年同期比4%増、前四半期比7%減）と、グループの業績に貢献しました。

シティ・クラブの主な財務データ

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
調整後 EBITDA	26	29	27

ゲーミングの実績¹⁴

（単位：100万香港ドル）

	2018年第1四半期	2018年第4四半期	2019年第1四半期
ローリングチップ売上高 ¹⁵	1,562	810	664
ウィンレート%	2.9%	4.4%	1.6%
勝ち金	45	36	11
マステーブルドロップ ¹⁶	2,841	3,012	2,950
ウィンレート%	14.4%	15.1%	15.5%
勝ち金	409	455	458
電子ゲーミング売上	2,119	2,756	2,500
ウィンレート%	1.9%	1.9%	1.7%
勝ち金	40	53	43
全 GGR 勝ち金	494	544	512

建設資材部門

建設資材部門の調整後EBITDAは、2億香港ドル（前年同期比10%減、前四半期比2%減）となりました。

開発に関する最新情報

ギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオ

当社の魅力と競争力を維持するため、15億香港ドルを投じてギャラクシー・マカオとスターワールド・マカオの施設増強計画を進めています。この計画は当社の魅力を高めるだけでなく、今後、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズを効果的に統合および連結するための準備作業も含んでいます。

¹⁴ ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁵ ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹⁶ マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。



ギャラクシー・マカオ - 「次の開発段階」へ

GEG は長期的成長の実現に向けて独自のポジションを確立しています。当社は、家族向けや最高級の客室を含む 4,500 室のホテル、40 万平方フィート (3.7 万㎡) の MICE スペース、16,000 人を収容できる 50 万平方フィート (4.6 万㎡) の多目的アリーナ、飲食店、小売店、カジノなどを中心とする、ギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズ開発事業を継続して進めています。将来の開発計画は改めて発表します。

横琴島

ギャラクシー・マカオを補完する、横琴島のライフスタイルリゾートの構想計画を引き続き進めています。

国際事業展開

日本を拠点とするチームは日本での開発活動を継続中です。日本は、長期的に見て大きな成長機会があり、当社のマカオおよびその他の国際的な事業計画を補完することになるでしょう。GEG は、モナコ公国のモンテカル SBM および日本のパートナーと共に日本で IR を展開することを楽しみにしています。

2019 年の第 1 四半期の主な受賞

受賞	主催者
GEG	
ゲーミング・オペレーター・オブ・ザ・イヤー (オーストラリア & アジア地域)	第 12 回インターナショナル・ゲーミング・アワード
ギャラクシー・マカオ™	
統合型リゾート・オブ・ザ・イヤー	第 12 回インターナショナル・ゲーミング・アワード
ザ・モースト・ポピュラー・リゾート・オブ・ザ・イヤー	ニューエクスプレス・ファッション・アワード 2018
ファミリーが最も好むアジアのリゾート最優秀賞	第 19 回中国ホテル・ゴールデンホース・アワード
2018 年ブラチナム・インターナショナル・アクアティックセーフティ・アワード - グランドリゾートデッキ	ジェフ・エリス&アソシエーツ (E&A)
ロマンチックなウェディング会場 - 統合型リゾート・オブ・ザ・イヤー	オールアバウト・ウェディング・アワード 2018
スターワールド・マカオ	
アジアのケータリングサービス・ベストホテル最優秀賞	第 19 回中国ホテル・ゴールデンホース・アワード
建設資材部門	
労働衛生賞 2018-2019 - ジョイフル@ヘルシーワークスペース・ベストプラクティス賞 (企業/組織部門) - 優秀賞	労働安全衛生協議会



展望

第 1 四半期の市場環境は厳しく、特に VIP セグメントが影響を受けました。訪問者数は、港珠澳大橋などインフラの継続的な整備、広深港高速鉄道の延伸およびグレーターベイエリアへのマカオの統合などに刺激され、堅調な伸びを示しました。

当社は第 3 および第 4 フェーズの建設作業を引き続き行っています。こうした新たな開発事業は、今後も増大する旅行者のニーズに応え、リゾートはマカオにおける唯一の次世代サービスとなるでしょう。

当社はすでに発表済みの 15 億香港ドルの改修増強計画を進めています。計画の完了は 2020 年の前半を予定しています。

また、ギャラクシー・マカオを補完する、横琴島のライフスタイルリゾートの計画も進めています。日本での取り組みも継続し、引き続きすべてのステークホルダーとの間で積極的に関係を築いていきます。

当社は、健全で流動性に優れたバランスシートを持ち、将来的な成長を十分に望める立場にあります。開発計画と国際的な事業展開を継続し、特別配当を実施することができたのもまさにこの強みがあるからです。

最後に、当社の成功に多大な貢献をしてくれるスタッフ全員に感謝の意を表します。今後も、世界の観光やレジャーの中心地になるというマカオ政府の構想を積極的に支援していく所存です。

- 以上 -



ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（香港証券取引所証券コード：27）について

ギャラクシー・エンターテインメント・グループは、世界有数のリゾート、ホスピタリティおよびゲーミング企業です。当グループは、マカオで統合型リゾート、リテール、飲食、ホテル、ゲーミング施設などの開発・運営を幅広く行っています。香港証券取引所に上場しており、ハンセン指数の構成銘柄であり、日経アジア300指数にも選出されています。

GEGは、マカオで最初にゲーミングライセンスを取得した3社のうちの1つであり、革新的で壮たく、数々の賞を受賞した施設、プロダクト、サービスを提供しています。「ワールドクラス、アジアのおもてなし」をサービス哲学の基本としており、マカオ市場でのリーダー的存在です。

GEGは、マカオで3つの旗艦リゾートを展開しています。コタイ地区にあるギャラクシー・マカオ™は世界最大級の統合型リゾートで、隣接するブロードウェイ・マカオ™は、ユニークなランドマークであり、エンターテインメントとフードストリートをテーマとしています。マカオ半島にあるスターワールド・マカオは数々の賞を受賞したプレミアムプロパティといえます。

グループは、マカオにおけるゲーミングライセンスを保有する会社の中では、最大の未開発用地を所有しています。コタイ地区のギャラクシー・マカオは次の開発段階が完成することで、リゾート、エンターテインメント、MICE施設を備え、総面積は200万平方メートル以上へと倍増し、世界最大級で様々な施設を提供する統合型リゾートとなります。GEGは、マカオに隣接する横琴島の270万平方メートルの土地にも、世界レベルのライフスタイルレジャーリゾートの開発を計画しています。同リゾートは、マカオでのGEGのプロジェクトを補完すると同時に、GEGと他との差別化をはかり、観光とレジャーの国際的な中心地にするというビジョンの下でマカオを支援するものとなります。

GEGは、2015年7月には、モナコ公国において象徴的な高級ホテルやリゾートを所有・運営する、世界的に有名なSociété Anonyme des Bains de Mer et du Cercle des Etrangers à Monaco（モンテカルロSBM）と提携し戦略的な投資を行っています。さらに、日本を含む国際プロジェクトの開発機会を引き続き探求しています。

GEGは、お客様に世界レベルかつユニークな体験を提供し、事業を行なっている地域社会への持続可能な未来を築くことに全力を尽くしております。

グループに関する詳しい情報については、をご覧ください。

報道関係者 問い合わせ先

ギャラクシーエンターテインメントジャパン
担当：高木あゆみ
Tel: 03-3588-8080
E-mail:
Ayumi.takagi@galaxyentertainment.co.jp

ゴリン・ジャパン
担当：大坂・石井・谷
Tel: 080-2015-0073/080-4832-
0800/080-2280-0043
E-mail: Aosaka@golin.com
/sishii@golin.com/ktani@golin.com